

平成26年度山形県教育センターの経営について

平成25年度経営評価委員による年度末評価での意見・助言等	平成26年度以降に向けた取組み等
<p>1 経営全般、研修・支援事業について</p> <p>○研修講座受講者の評価は高いが、改善点を書いてもらった方が、今後に生かせるのではないかと。</p> <p>○受講者自身の研修成果を学校の活性化に活かされるよう、さらに意識化を図ってほしい。</p> <p>○遠方地域に配慮した出前サポートやサテライト講座の実施も、ニーズにあった対応をお願いしたい。</p> <p>○学校教育の鍵は、保護者との信頼関係にある。保護者や児童生徒とのコミュニケーション感覚を高める研修も大切にしたい。</p> <p>○専門研修の評価が若干ずつ下がってきているようなので、内容を精査して、向上するように検討してほしい。</p> <p>○いじめに対する研修、特別支援教育の実践的な研修を実施していくことが大切。</p> <p>○各種講座等の講師として、各学校の教員に依頼する場合、市教委を通さず、直接県センターから所属長に内諾を得るための連絡を行った方が、選考理由や講座内容等についても詳しい説明をすることができ、よいのではないかと。</p> <p>○初任者の夏季休業中における研修が多い。研修体系の見直しやそれぞれの研修の関連を図りながら、効果的な取組みにしていかなければならないのでは。</p> <p>○初任者自身がメンタル面をコントロールするための研修プログラムが必要。</p> <p>○初任者の校内研修内容について、OJTをフルにカウントできるよう軽減してほしい。</p>	<p>○受講アンケートには、講座全体のほかにも、それぞれの内容や運営等について自由記述欄を設け、次年度に生かせる点については、検討するようにしています。継続して取り組みます。</p> <p>○受講者が、学校における自身の還元について評価する「振り返りシート」の意義について、説明をより丁寧に行い、回収とその後の活用に努めます。</p> <p>○最も受講希望が多い「ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり講座」と、現場の課題に対応する「保護者との連携を深める講座」について、村山以外の教育事務所等を会場に、全校種を対象にサテライト講座として開講します。</p> <p>○専門研修を精選し、現場のニーズと教育課題により対応できる内容にすると同時に、出前サポートとして指導主事が出向いて講座を行ったり、要請に対応したりできる体制を継続していきます。</p> <p>○市町村ごとの状況を把握して、課題を整理し、検討していきます。</p> <p>○教員研修体系検討委員会や基本研修実施協議会における協議に向けて、よりよい研修の在り方について検討していきます。</p>

2 研究事業について

○研究事業について、研究で成果が見られるものは、できるだけ早急に、全県下の授業で取り入れられるような体制の構築をお願いします。

○子どもたちの学力向上に向けて、特に、本県として弱い算数、数学について、県として独自の問題集の検討・作成や指導方法の確立等について、センターとしても力を入れていくべきである。

3 教育相談・特別支援教育について

○いじめに対する教員の感度を高めていく研修を充実させていくべきである。

○ホワイトボード教育相談についてサテライト講座や出前講座でも対応してほしい。

○いじめのメール相談について、アドレスの周知やWebページとのリンク等を行うことで、児童生徒がより相談しやすい環境をつくることできる。

○小・中学校、高等学校において、発達障がい等の子どもたちに対する特別支援教育の充実が求められており、専門的な知識・経験のない一般教員に実践的な研修を実施していくことが大事である。

○相談業務の充実を期待する。現場では対応が難しいケースの最後のよりどころとなる相談を手がける意気込みで臨んでもらいたい。

4 その他

○教育研究、教員研修、教育相談等に関しては、大学も同様の業務を行っている。教師の育成をトータルにとらえて、養成や研修（学び直し）についても連携できる関係を構築したい。

○研究の成果については、研究報告書やハンドブック等を学校等に配付するほか、Webページでの発信、所内の研修講座での実施、出前サポート等を行って、普及に努めます。

○小学校及び中学校における学力向上に係る研究を、平成26年度から単年度更新で実施します。

○専門研修「いじめ未然防止のための学級経営講座」と出前サポート「教育相談体制の充実講座―いじめ等問題行動に初期対応するために―」を、新規で実施します。

○出前サポート「効率的・効果的なケース会議の進め方講座」で対応します。

○県教育庁高校教育課のWebページに、メール相談のリンクを設けました。

○イブニング専門研修と出前サポートに「発達障がいが気になる児童生徒の理解と支援講座」を設けました。また「通常の学級における『ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりハンドブック』活用講座」においても、発達障がいについて触れていきます。

○相談は、学校の教員にも、保護者の方にも御利用いただけます。センター特別支援教育課としては、相談者とともに、子どもの成長にかかわっていきたいと思います。

○大学との連携は重要であり、連携の在り方を探りながら、連携を進め、深めていきたいと考えます。